

4. テーマ 魅力あるまちづくり（都市再生と定住促進について）

〈視察年月日 令和3年11月17日～18日〉

参加者

芳金秀展／鈴木幸彦／渡邊昭司
竹内功治／沢田 清／澤田 勝
石川英之



▲視察の様子

視察先

埼玉県草加市、群馬県桐生市

学んだこと

草加市では、まちの現状を多種多様なデータから綿密に分析し、『どんなまちであるべきなのか』というビジョンを掲げ、民間と行政の信頼関係のもと、エリアを絞って公民連携の『リノベーションまちづくり』の手法を用い、まちの担い手を育成するプログラムを展開していました。

桐生市では、『桐生暮らし応援事業』という住宅取得やりフォームの助成メニューを充実させ、空き家をオンラインで内覧できる仕組みなど、不動産業界とも連携し成果を上げられていました。

半田市に活かせること

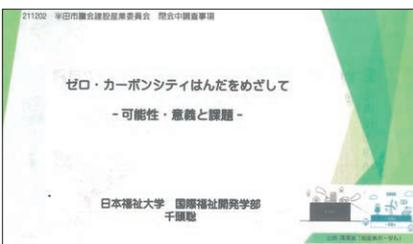
- ・まちの現状を多種多様なデータから分析しビジョンを掲げる。
- ・公民連携を民間と共有し、まちを創っていく当事者を育成する。
- ・必要であればリノベーションまちづくりの手法を検討する。
- ・定住人口増加策の施策を見直し、予算の重点配分をする。
- ・空き家バンクを民間と連携することで充実させ利活用を促す。

5. テーマ ゼロカーボンシティについて

〈受講日程 令和3年12月2日〉

参加者

新美保博／水野尚美／中村和也
芳金秀展／坂井美穂／山本半治
中川健一／竹内功治／沢田 清



講師

日本福祉大学
国際福祉開発学部
千頭聡 特任教授

学んだこと

ゼロカーボンシティを考えるために大切になることが3つ

- ・2050年にゼロカーボンシティはんだとしてどのような姿になっているのかをしっかりと議論し絵に書いてみる。
- ・目指すべき未来の姿から、2030年に達成すべき事をバックキャストで明確化をすること。
- ・2030年に向けて行動計画を作る、この計画は、市民が努力をしてどれだけCO₂を減らしたかが、きちんとわかるようにしておくこと。減らした部分の見える化が大事である。

半田市に活かせること

- ・ゼロカーボンを新たな地域ブランドに
- ・行政による補助金に過度に依拠せず、民間事業者の力を最大限に生かす
- ・半田が有する地域資源を最大限に生かす
- ・新たな産業育成、イノベーションとしてのゼロカーボン化
- ・強力なトップダウンによるぶれない戦略
- ・エネルギーの地産地消に向けたエネルギーマネジメントシステムの導入